

平成27年度

第3回道徳教育推進リーダー養成研修

平成28年3月11日（金）

県立教育研究所 中講座室4

奈良県教育委員会

平成27年度 第3回小学校道徳教育推進リーダー養成研修 開催要項

- 1 趣 旨 平成30年度から新たに実施される特別の教科である道徳（道徳科）を要として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進に向け、各地域における道徳教育推進のための指導者（道徳教育推進リーダー）を養成するために実施する。
  
- 2 期 日 平成28年3月11日（金）
  
- 3 場 所 県立教育研究所 中講座室4  
磯城郡田原本町秦庄22-1  
(連絡先) 県教育委員会事務局学校教育課 義務教育係 TEL 0742-27-9854
  
- 4 内 容 14:00 ～ 14:10 開会行事  
14:10 ～ 15:40 演習「道徳科の授業の充実のためにⅡ」  
15:50 ～ 16:30 講義「道徳教育の計画作成等について」

友の肖像画

ぼくと正一は幼なじみである。家が近かったせいもあり、毎日いっしょに学校に通った。学校から帰っても、近くの空き地でよく野球をしたものだ。

宿題をするのもいっしょ、遊ぶのもいっしょ。そんなぼくたちを見て母は、

「和也たちはほんとうに仲がいいのね。まるでふたこの兄弟のようね。」

と、笑った。

「ぼくたち、大きくなって、ずっと友だちでいるんだ。」

ぼくは得意そうに答えたものだった。

あれは、三年の一学期のことだった。

正一が、突然、体の筋肉がだんだん弱くなって、縮んでいくという雑病にかかってしまった。

その手の状、正一は親せきのすすめで、九州の療養所に入院することになった。その療養所の中には学校があり、療養しながら勉強ができるということだった。

正一が九州へ出発する日、ぼくは両親と東京駅まで見送りに行った。正一はこれからの療養生活を考えているのか、あまり元気がなかった。

ぼくはわざと明るく、

そのうちに正一からは、だんだん手紙が来なくなりました。(いったいどうしたのだろう。なぜ、手紙をくれないのだろう。) 正一の家来も引越してしまって様子も分からなくなり、ぼくの方もなんとなく手紙を書かなくなって、何か月かが過ぎていった。

正一から手紙が来なくなって、そろそろ一年になる。

ある土曜日のことだった。ぼくは、夕食をすませて宿題をやっていた。

そのとき、テレビのニュースを見ていた母が、大をな声で、「和也、今うつっているのは、正ちゃんの学校のことじゃないの。」と言った。

「えっ、ほんと。」

ぼくは急いでテレビの前に行った。

テレビの画面には、新宿のデパートでもよおされている「療養しながら学ぶ子どもたちの作品展」の様子がうつし出されていた。やはり正一の学校のことだった。ぼくの胸は早がねのように鳴った。

テレビによると、その作品展は五日も前から開かれ、明日の日曜日が最終日ということだった。

翌日、ぼくと母はデパートの閑店と同時に、会場へ急いだ。

会場には、いろいろな病気で長い間療養している小学生から高校生までの作品が、たくさん展示されていた。水彩画、木版画、ガラス絵、切り絵、手芸など、作品は多彩だった。

(正一の作品はどこだろう。)

ぼくはむちゅうになって、正一の作品を探した。

「正ちゃん。病氣なんかには負けないてね。ぼく、きっと、手紙書くよ。」

と言うと、正一もうれしそうに、

「うん、ありがと。ぼくも手紙書くよ。運動会のかけっこ、がんばってね。」

と言って、列車に乗りこんだ。

ぼくは正一の乗った列車が見えなくなるまで、いつまでもいつまでも手をふっていた。

それから、ぼくと正一の文通が始まった。

正一の手紙には、療養所での生活がくわしく書かれていた。だんだん足の筋肉が弱くなって、自由に走り回ることができなくなったこと、看護婦さんが一生けん命に世話してくれること、毎日、院内の学校に通っていること、そこには、正一と同じように療養しながら勉強している子どもがたくさんいることをなどである。いつも手紙の最後には、「もう一度、さみたちと野球がしたいな。」と書いてあった。

ぼくの方も、正一がいなくなってさみしくなったこと、学校で友だちとけんかしてぐやしかったこと、先生にしかられたことなどを書き送った。こうしてぼくたちは手紙を通して友情を深め、はげまし合った。

「あった。」

正一の作品は、「友の肖像画」という題の木版画だった。その際には、つぎのような解説がつけてあった。

前の学校のときの友だちK君の顔です。ぼくの手や指の筋肉がだんだん弱くなり、えんぴつも持てないようになったので、筋肉をきたえるために版画に挑戦しました。この作品は完成するのに約一年かかりました。現在は、いくらか物が持てるようになってきました。

Kというのはぼくのことだ。

(そうか、それで手紙をくれないわけがわかった。)

ぼくの目からはなみだがあふれ、版画がかすんでしまった。そばにいた母も、

「不自由な手で、よく、こんなにつばな作品ができたわね。」

と、ハンカチを目にあてていた。

正一は病氣に負けまいとがんばっているのだ。そして、正一の作品は、

(和也君、いつまでも友だちでいようね。)

と、語りかけてくるようだった。

帰りの電車の中で、ぼくはじつと目をむわつっていた。まぶたのうらには、幼い日の正一とぼくの姿がうつっては消えていった。(家に帰ったら、すぐに正一に手紙を書こう。)

電車の窓から見える空は、青くすきとおっていた。

(井美博子作)

小学校道徳学習指導案

1 主 題 本当の友達 (高B 信頼・友情)  
 教材名 友の肖像画 (文部省 「小学校読み物資料とその利用3」)

2 ねらい  
 友の肖像画をみて変化する主人公の気持ちを考えることを通して、互いに信頼し、友情を深め協力し助け合おうとする心情を養う。

3 展 開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点	備 考
導入	1、今までに流した涙について話し合う。	○ 今までに涙を流したことはありますか。また、それはどんなときですか。 ・怒られたとき。 ・悔しいとき。	・ 児童たちの自由な考えを大切にし、その時どのようなことを感じたかなどについて話し合う。	
展 開	2、「友の肖像画」を読んで話し合う。  3、自分を振り返る。	○ 和也は、いつまでもいつまでも手をふりながらどんなことを考えていたのでしょうか。 ・寂しい。 ・元気でいてね。 ・いつまでも友達だよ。 ○ どうして和也は手紙を書かなくなったのでしょうか。 ・正一よりも親しい友達ができただから。 ・約束したのに手紙をくれないから。 ・返事が来ないから。 ・正一は、僕のことを忘れてしまったんだ。 ◎ 正一の描いた「友の肖像画」を見つめ涙を流しながら、和也はどんなことを考えたのでしょうか。 ・正一、ありがとう。 ・この一年間、病気と闘っていたんだ。 ・正一は僕のことを信じてくれていたのに、自分は信じてあげられなかった。 ・正一のことを疑った自分が恥ずかしい。 ・正一の僕への気持ちは変わっていなかったんだ。 ○ 青く透き通る空を見ながら、和也は正一のことをどんな友達だと感じたのでしょうか。 ・自分のことを信じてくれる友達。 ・本当の友達。 ・どれだけ離れていても親友だ。 ・大切にしていかなければならない友達。	・ 別れ際にいつまでも手を振る二人の様子を押さえ、離れてもずっと友達でいたいと思う和也の気持ちに共感させる。 ・ 正一から手紙が来なくなったときの和也の気持ちを押さえ、正一のことを心配しながらも手紙を書かなくなっていった和也の気持ちについて考えさせる。 ・ 正一の学校の作品展が開催されると知った和也の気持ちや正一の作品を探し和也の気持ちを押さえ、正一の自分への友情の深さや自分の正一への友情の浅さに涙する主人公の気持ちについて考えさせる。また、肖像画に込められた正一の気持ちについて補助発問することも考えられる。 ・ 正一に対する和也の思いについて話し合うことで、よりよい友達関係を築いていくためにすべきことを話合う。児童からは、「親友」「本当の友達」などの意見が出されることが予想されるので、問い返しの発問をし、より具体的に考えられるようにする。自分たちの友達関係を振り返る機会としたい。	ワークシート
終末	4、教師の説話を聞く。		・ 私たちの道徳72ページを活用して、友情についての考えを深め、よりよい友達関係を築いていこうとする意欲を高めるようにする。	

## 銀色のシャープペンシル

教室の机も並べ終えたし、あとは後ろにたまったゴミをかたづけただけだ。その時、ぼくは綿ぼこりや紙くずに混じって、銀色のシャープペンシルが落ちているのを見つけた。手に取ってぼこりを払ってみると、また新しいし、芯も何本が入っているようだ。自分のシャープをなくしたところだったので、ちやうどいいやと思ってホケットにしまった。

一週間ほどたった理科の時間。今日はグループに分かれて融点の測定を行う。グループには幼なじみの健二と、このクラスになって仲良くなった卓也がいる。健二は調子がよくてときどき腹の立つこともあるが、ぼくと同じバスケット部で、いつも冗談ばかり言っているゆかいなやつだ。その点、卓也はやさしくてぼくが困るといつも助けてくれる。対照的な二人だがなぜか気が合って、グループを作るといつも三人がいっしょになる。

理科室に行くと、教科委員が実験器具を配っていた。ぼくは卓也が読み上げていく温度計の値を記録していく係だ。席に着くと記録用紙が配られ、ぼくは準備しようと筆入れからあの銀色のシャープペンシルを取り出した。その時だ。卓也がぼそっと

「あれ、そのシャープ、ぼくのじゃ……。」

と言った。(まっ、これ卓也の。)と言おうとしたら、すかさず健二が

「お前、卓也のシャープとったのか。」

と大きな声ではやしたた。ぼくはとった。「と言う言葉に一瞬血の気が引いていくのを感じた。

ざわざわしていた教室が静まり返り、みんなが一斉にぼくの方を見た。ぼくはあわてて

「何を言っているんだ。これは前に自分で買ったんだぞ。健二、変なこと言うなよな。」

と言って、健二をにらんだ。健二はにやにやしているばかりだ。卓也の方を見ると、ぼくの口調に驚いたのか下を向いて黙ってしまった。しばらく教室全体にいやな空気が流れた。

チャイムが鳴り、先生が入って来られ実験が始まった。ぼくは下を向いたまま卓也の読み上げる値を記録していった。卓也がぼくの右手に握られているシャープペンシルを見ているようで落ち着かなかった。早く授業が終わらないかと横目でちらちら時計を見た。でも、時間がぼくの周りだけわざとゆっくり流れているように感じた。本当のことを話そうと思った。でも、自分で買ったなんて言ってしまった手前、とても声には出せなかった。

健二は相変わらずぶざけて、班の女子を笑わせている。人の気も知らない健二にむしように腹が立ってきた。だいたい健二が悪いんだ。とったなんて大きな声で言うから返せなくなったんだ。みんなだって人のものを勝手に使っているくせに、こういうときだけ自分は関係ないなんて顔をしている。拾っただけのぼくがどうしてもぼつのように言われなくっちゃならないんだ。それに、卓也も卓也だ。みんなの前で言わなくてもよかったんだ。大切なものならきちんとしまっておけばいい。シャープペンシルの一本くらいでいつまでもこだわっているなんて心が狭いんだよ。

「実験をやめて、黒板を見なさい。」

先生の声が出た。右手はじんわり汗をかいていた。ぼくはシャープペンシルをホケットにさっとしまおうと、みんなにわからないように汗をスポンジで拭いた。授業が終わると、ぼくは二人の前を素通りし、一人で教室にもどった。だれともしゃべる気にはなれなかった。

授業後、健二が部活動に行こうと誘ってきたが、ぼくは新聞委員の仕事があるからと、一人で教室に残った。だれもいなくなったのを確認すると、シャープを卓也のロッカーに突っ込んだ。これでいい、ちゃんと返したんだから文句はないだろうと、部活動へ急いだ。

夕食をすませるとすぐに部屋に駆け上がった。勉強をする気にもなれず、ベッドにおお向けになり今日のことを考えていた。

「卓也君から電話。」

母が階段の下からぼくを呼んだ。とっさに卓也が文句を言うために電話をしてきたのだという考えが浮かんだ。ぼくは何を聞かれても知らないで通そうと、身構えて受話器を取った。

「今日のことで、実はシャープ、ぼくの勘違いだったんだ。部活動の練習が終わって教室に忘れ物を取りにもどったら、ロッカーの木工具の下にシャープがあって。それに、本当のこと言うと、少し君のこと疑っていたんだ。ごめん。」

卓也は元気のない声で謝っている。ぼくの心臓はときどき音を立てて鳴りだした。

「う、うん。」

と言うと、ぼくはすぐに電話を切った。まさか卓也が謝ってくるとは考えもしなかった。自分の顔が真っ赤になっているのを感じた。だれにも顔を見られたくなくて、黙って家を出た。

外に出ると、ほてった顔に夜の冷たい空気が痛いほどだった。ぼくは行くあてもなく歩き出した。卓也はぼくのことを信じているのに、ぼくは卓也を裏切っている。このままで本当にいいのかと自分を責める気持ちが強くなりかける。すると、もう一人の自分が、卓也が勘違いだと言っているんだからこのまま黙ってればいいときさやってくる。ぼくの心は揺れ動いていた。

突然、「するいぞ。」という声が聞こえた。僕はときとして後ろを振り返ったがだれもない。この言葉は前にも聞いたことがある。合唱コンクールの時のことだ。ぼくはテノールのパートリーダーだったが、みんなも練習したくなさそうだったし、用事があるからと言っては早く帰って友達と遊んでいた。テノールはあまり練習ができないままコンクールの日を迎えてしまった。結果はやはり学年の最下位。ぼくはパートのみんながしつかり歌ってくれなかったからだと言いつらした。帰り道、指揮者の章雄といっしょになった。ぼくは章雄にも「みんながやってくれなくて。」と言ったら、章雄は一言、

「お前、するいぞ。」

と言いつ残して走っていった。

あのときは、章雄だって塾があるからと帰ったことがあったのに、人に文句を言うなんて自分の方がするいんだと腹を立てていた。今度もそう。自分の悪さをたなに上げ、人に文句を言うてきた。いつもそうして自分を正当化し続けてきたんだ。自分のするべきを、まかして。

どれくらい時間がたっただろう。ふと顔を上げると、東の空にオリオン座が見えた。あの光は数百年前に星を出発し、今、地球に届いているという。いつもは何も感じないのに、今日はその光がまぶしいくらい輝き、何かとてつもなく大きいもののように思える。少しずつ目を上げていった。頭上には満天の星が輝いていた。すべての星が自分に向かって光を発しているように感じる。ぼくは思い切り深呼吸をした。そして、ゆっくり向きを変えると、卓也の家に向かって歩き出した。

中学校道徳学習指導案

1 主 題 弱さの克服 (D よりよく生きる喜び)

教材名 銀色のシャープペンシル (文部省 「中学校読み物資料とその利用3」)

2 ねらい

周りの友人や良心の声により、拾ったシャープペンシルを自分のものとしたことを言い出せずいた主人公の思いの変化について話し合うことを通して、人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努めようとする態度を養う。

3 展 開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点	備 考
導 入	1、星空について話し合う。	○ 今までに星空を見て感動したことはありますか。 ・ペルセウス座流星群を家族と見て、感動した。	・生徒たちの自由な考えを大切にし、その時どのようなことを感じたかなどについて話し合う。	
展 開	2、「銀色のシャープペンシル」を読んで話し合う。	○ 一人で教室に戻って、誰ともしゃべる気になれずにいた僕はどんなことを考えていただろうか。 ・返そうと思っていたのに。 ・卓也のだと知っていたら返していたのに。 ・どうやって返せばいいんだ。 ○ 「ずるいぞ」とどこからともなく聞こえてきたとあるが、何がずるいのか。 ・最初からいわなかったこと。 ・卓也は正直に言ったけど、自分は言えなかったこと。 ・いつまでもごまかしていること。 ◎ 東の空のオリオン座のとてつもなく大きい光を見ながら、僕は何を思ったのだろう。 ・僕はずるい人間だ。 ・自分も正直に言えるようになりたい。 ・自分と比べて卓也はすごい。 ・恥ずかしい。 ・周りのみんなは、僕のことを軽蔑するだろう。 ○ 卓也の家に向かって歩き出した僕は、どんなことを考えていただろうか。 ・卓也に申し訳ない。 ・今なら間に合う。ちゃんと謝ろう。 ・ずるい人間になりたくない。 ・ごまかさずに生きていきたい。	・卓也や健二から「とったのか」と疑いの目を向けられた主人公の気持ちを押さえることで、主人公の心の中にある弱さについて考えさせる。 ・「ずるいぞ」という主人公の心の中にある良心の声を取り上げ、自分の弱さと向き合う主人公の心を考えさせる。 ・いつもは何も感じないオリオン座の光がまぶしく見えた理由や、自分を照らす星の光が何を表しているのかと補助発問することも考えられる。また、ワークシートに書かせることで自分の考えを深めさせ、それを基にしながら意見交流させる。 ・大きく深呼吸してから歩き出した主人公の様子を押さえ、自分の弱さと向き合いよりよく生きようとした主人公の気持ちについて考えさせる。	ワークシート
終 末	3、教師の説話を聞く。		・私たちの道徳120ページを活用して、自分の弱さや醜さに向き合い、それらを克服し誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方をしようとする心をもて温める。	

〇〇小学校道徳教育全体計画（例）





(第1学年 別業の例)

内容	道徳	月	回数	月	算数	月	生活	月	音楽	月	図画工作	月	体育	月	特別活動	月		
A	内学	どんな一ねんせいになる 自分、自由と責任	5	なんていおうかな	4											楽しい給食	5	
	正面、球案			おむすび ごろりん	6													
	態度、節制	ほんたじかんた	6	この おおきさ どうするの	4											準備遊び	9	もうすぐ夏休み 冬休みを楽しくすごそう
B	個性の伸長						もうすぐ 2年生	2										
	希望と意志、努力と強い意志	小さなどりのつみかさね	2	どまにに、書いてみよう	12	なんじなんぶん	2	もうすぐ 2年生	3	おとをあわせてたのしみ	3	とんだん ならべてとんだん ならべて	2	遊び箱を使った運動遊び	10	3学期の目当て決め	1	
	親切、思いやり			おむすび ごろりん たぬきの 糸車	5 2											お別れ会の計画	2	
C	感謝			たぬきの 糸車 だつて たつての おおきさん	2 3		たのしもう あき	10									2年生といっしょにあては う 6年生を送る会	12 2
	礼儀			だつて たつての おおきさん どうぞ よろしく	4 4													
	友情、信頼	おおきないりさん	10	くらぐも	10		いちねんせいになったよ	4	うたをながおしになるう	4	おつて たたら	7	鬼遊び	2	1年生を迎える会	4		
D	規則の尊重	ちこそうさまのあとで 黄色いペンチ	9 12	おむすびで はなをう すきな こた、なあに	6 7	なんじなんぶん かたち つくり	4 2	さあ みんなで てかけよ	6	はくをかんじてあそぼう	5		たのしくあそぼう ボールけりゲーム	4 2	ボールの使い方	9		
	公正、公平、社会正義						だいすき なつ	7										
	勤労、公共の精神	もりのゆりびんやさん	11	じどう車くらへ	11													
E	家族愛、家庭生活の充実			おおきな かぶ	7		ひろがれ えがお	10										
	よりよい学校生活、集団生活の充実			いいこといっぱい、一年生 いちねんせいのうた	4 9		かつこうと とむだち	5										
	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、国際理解、国際貢献			むかしはしが いろいろ	12		たのしみ 買ったよ ふゆ	1	にほんの うたを たのしもう	1								
F	生命の尊さ	まりちゃんとおおきがお	6	だつて たつての おおきさん すうと、すうと、大すきだよ	3 12		生きものど なまよし	9										
	自然愛護			うたにあわせて あいうえお	4													
	感動、畏敬の念			くらぐも	10				ようすをおもいうかべよう	10	うつした かたちから	3						

※道徳の欄には、各学校の年間指導計画に基づき、教材名及び時期を示してください。

〇〇中学校道徳教育全体計画（例）



内容	選徳	月	国語	月	社会	月	数学	月	理科	月	音楽	月	美術	月	保健体育	月	技術・家庭	月	外国語	月	総合的な学習の時間	月	特別活動	月	
A	自主・自律、自由と責任	ネット得権	6	【少年の日の思い出】 【わがみやすく(説明しよう)】																					
	節度、節制			【言葉を集めよう】																					
	向上心、個性の伸長			【好きなものを紹介しよう】 【ほろひ三代】																					
	希望と勇氣、自己と強い意志																								
	真理の探究、創造																								
	思いやり、感謝	背番号10	5	【お言葉(く)たいを伝えよう】																					
	礼儀																								
	友情、信頼	違うんだ(健司)	10	【君の音が響くころに】																					
	相互理解、寛容	言葉の向こうに	11	【わがみやすく(説明しよう)】 【ぼく(ここに)】																					
	過去精進、公徳心	闇の中の炎	1	【少年の日の思い出】																					
B	公正・公平、社会正義			【ぼく(ここに)を報告しよう】																					
	社会参画、公共の精神																								
	勤労																								
	家族愛、家庭生活の充実																								
	よりよい学校生活、集団生活の充実	ロッソ(ローラー)	2	【課題や方向を捉えて話し合おう】 【ぼく(ここに)を報告しよう】																					
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する																								
	我が国の伝統と文化の尊重、國を愛する																								
	国際理解、国際貢献	真の国際人-藤村治五郎	3	【人にできる言葉】																					
	C	生命の尊厳	壊やしてはならない-橋方法庵	10	【動物はつたつたつしんにおなめたあたまに...】																				
		自然保護																							
愛敬、畏敬の念																									
よりよく生きる喜び		顔色のシャープペンシル	12	【少年の日の思い出】																					
D		希望と勇氣、自己と強い意志																							
		真理の探究、創造																							
		思いやり、感謝																							
		礼儀																							
		友情、信頼																							
		相互理解、寛容																							
	過去精進、公徳心																								
	公正・公平、社会正義																								
	社会参画、公共の精神																								
	勤労																								
家族愛、家庭生活の充実																									
よりよい学校生活、集団生活の充実																									
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する																									
我が国の伝統と文化の尊重、國を愛する																									
国際理解、国際貢献																									
E	生命の尊厳																								
	自然保護																								
	愛敬、畏敬の念																								
	よりよく生きる喜び																								
	希望と勇氣、自己と強い意志																								
	真理の探究、創造																								
	思いやり、感謝																								
	礼儀																								
	友情、信頼																								
	相互理解、寛容																								
過去精進、公徳心																									
公正・公平、社会正義																									
社会参画、公共の精神																									
勤労																									
家族愛、家庭生活の充実																									
よりよい学校生活、集団生活の充実																									
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する																									
我が国の伝統と文化の尊重、國を愛する																									
国際理解、国際貢献																									

※道徳の欄には、各学校の年間指導計画に基づき、教材名及び時期を示してください。

